

社会教育

「地域学校協働活動」とは、地域が学校や子どもたちを応援・支援するという一方向の関係だけでなく、例えば学校と地域住民が共に地域の課題を解決する活動や地域の行事に学校が参画して、共に地域づくりに関わるというような取組を推進するなど、地域と学校がパートナーシップに基づき、双方向の関係になることです。

これまでの活動をベースに、子どもの成長を軸にして「学校を核とした地域づくり」を目指します。今回は、「地域学校協働活動事業」を特集します。



目 次

◆ 特 集	1
「地域学校協働活動事業」		
◆ 論 説	3
「地域と共にある学校」		
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター		
特任教授 本多 環 氏		
◆ 輝け！社会教育	4
福島県婦人団体連合会常務理事・事務局長	瀧本 チイ 氏	
前ボーイスカウト福島連盟副連盟長	工藤 信行 氏	
郡山市中田公民館		
喜多方市松山公民館		
福島市三河台学習センター		
塙小学校父母と教師の会		
田村市立芦沢小学校PTA		
新地小学校父母と教師の会		
国見町地域学校協働本部		
金小ゆうがたクラブ		
玉川村学校支援地域本部		
いわき市立いわき総合図書館		
只見町読書活動ボランティア		
◆ 平成29年度社会教育関係各種表彰受賞	11
平成30年度福島県社会教育施設行事予定		

平成29年度地域学校協働活動事業

頑張る学校応援プランの「地域と共にある学校」を踏まえ、これまでの地域が学校を支援していく活動だけでなく、学校が地域住民とともに地域に貢献する活動など、地域社会と学校が協働する取組を推進します。本年度より、下記の取組を8つのモデル地区で実践しています。



8モデル地区の取組

国見町 コミュニティスクールの特色を生かした地域活動の展開

地域の人材（元教員・大学生等）、教育事業者による小・中・高校生を対象にした放課後、土曜日、長期休業中における学習支援活動
幼・小・中一貫教育事業「くにみっ子まつり」において、郷土愛を育むことを目的とした地域住民参加による地域の文化伝承活動を実施



大玉村 大玉らしさを生かした地域学校協働活動事業

地域住民、大学生の学習サポーターによる小中学生を対象にした土曜日、長期休業中、放課後等の学習支援活動
地域住民のふれあいや地域資源を生かした活動を通し、ふるさとのよさを再発見する地域学習（ふるさと教育＜郷育＞）の実施



天栄村 「世界に飛ばたく英語の村てんえい」地域活性化の取組

『英語の村てんえい』をテーマとし、AR※を活用したガイドマップの製作等による地域全体での地域の活性化の取組

※AR：Augmented Realityの略。人が知覚する現実環境をコンピューターにより拡張する技術、及びコンピューターにより拡張された現実環境そのものを指す言葉。

ALTや地元企業の活用による英会話の体験活動や、地域人材を活用した長期休業中の学習支援や部活動支援の実施



西郷村 地域の学習ボランティアが支える学習支援活動

地域人材を活用した小中学生対象の放課後、土曜日、長期休業中における学習支援活動

地域・学校協働による地域の清掃ボランティア及び中学生による幼稚園・小学校の行事や村主催行事へのボランティア活動の実施



西会津町 家庭教育支援体制の充実

地域人材（退職教員、絵画クラブ、学習塾等）を活用した小中学生対象の長期休業中における学習支援活動

家庭教育コーディネーターや家庭教育支援員を配置し、保護者を対象とした家庭教育講座や家庭教育相談室「こころのオアシス」の開設等の家庭教育支援活動の実施



双葉町 「ふるさとを知り、より自分を高める」地域学習の展開

町内小学校及び仮設住宅集会所における小中学生対象とした放課後・長期休業中における学習支援活動

児童生徒と地域住民協働による双葉町の文化・歴史の伝承活動・双葉バラ園、双葉せんだん太鼓、双葉だるま提灯



川内村 児童生徒が地域住民とともに取り組む地域活動

小中学生対象に放課後週2回実施の学習支援活動「かわうち興学塾」の開設

「川内の郷かえるマラソン大会」における応援ランナー、完走者へのメダル掛け、給水所補助、チップ回収等の地域ボランティア活動



楢葉町 協働活動により「地域が元気になり、地域が好きになる」

小中学生を対象とした、放課後、土曜日、長期休業中における講師による学習支援活動「ゆずり葉学習会」の実施

「ふるさと学習」として児童生徒と地域住民が協働して取り組む地域学習（ふるさと教育＜郷育＞）の合同運動会や学校美化活動



福島大学つくしまふくしま未来支援センター
特任教授 本多 環 氏

東日本大震災と原発事故により子どもの状況が多様化・深刻化し、「生きようとする意欲」を低下させている子どもも少なくない。自分らしさを見失い、生きることが苦しくなった子どもたちである。このような子どもたちも、新たな居場所で自己肯定感を高めることができれば、自分らしさを取り戻し、主体的に学び始める。

都市化や過疎化の進行、家族形態の変容等を背景とした地域・家庭教育力の低下により、教育力の向上を目指した教育環境の再構築が課題となっている。

中央教育審議会においても審議がなされ、地域と学校の連携・協働の推進に向けた仕組みや方策について提言している。

「協働」とは共通の目的・目標を達成するための協力行為である。地域・学校・家庭が各々の教育目的を設定するのではなく、三者が共通の目的に向かって協力し合うことを目指している。そのためには、将来、地域を担うであろう子どもたちにどのような力を育むのかという目指すべき教育ビジョンを地域で共有し、地域社会が総掛かりで子どもを育てるという新たな仕組みづくりが必要であろう。

1月下旬、教育大国と言われるフィンランドの教育現場を視察した。

基礎教育を受ける子どもたちの授業は午前中で終わり、給食後の過ごし方は子どもに任されていた。帰宅する子ども・学校環境を活用し

た社会教育事業に参加する子ども・図書館で学習に取り組む子ども…。

「どうして学ぶの？」と、子どもたちに尋ねると、「未来の自分のため」

「自分らしく生きるため」「なりたい仕事に就くことができるように」という答えが返ってきた。教職員からも同じ説明を受けた。仕事を終えた後、大学や図書館で学んでいると言う。学びの目的が自己実現であることを誰もが認識しており、地域も学校も家庭も「自己実現のための学びの場」として活用されていた。興味・関心に応じて学習の場を選択する仕組みができていたのである。

社会情勢の変化に伴い学校が抱える課題が複雑化・困難化している。学校だけが子どもの教育を請け負うのではなく、地域と学校が協働し、地域全体で子どもの主体的な学びを支えることができるような「地域学校協働活動」を目指したい。個々の興味・関心に応じて学習の場を選択することができる地域となれば、福島県は「教育課題先進県」から「教育先進県」に姿を変えることができる。子どもたちが「学びは楽しい」「福島で学んでよかった」と思うことができるような「教育先進県」でありたい。



<プロフィール>

1986年4月 福島県公立小学校勤務

1996年4月 福島大学大学院入学

2003年4月 福島大学附属小学校勤務

2012年4月 現職に就く

2016年6月 福島県社会教育委員の会議委員

2016年7月 福島県評価・検証委員会委員長

輝け 社会教育

社会教育功労者文部科学大臣表彰

社会教育功労者文部科学大臣表彰を受賞して

福島県婦人団体連合会常務理事・事務局長 瀧本チイ氏

この度の本賞は、私にとりまして身に余る光栄と有難く拝受いたしました。果たしてこの賞に値するだけの功績を残すことができたのだろうかと自問している次第であります。

私は職場を辞して以来、社会教育団体の地域婦人会の会員として身を置き、さまざまな地域社会の問題について学びながら活動させていただきました。「安全安心な明るく幸せな地域づくり」のスローガンに向かって、具体的に何をすれば良いのか暗中模索の中で行政機関や先輩諸姉、その他沢山の方々からのご指導、アドバイスをいただき現在に至っております。この様なことか

らこの度のこの賞は私個人のものではなく、お世話になった方々、会員の協力の結果だと思えます。私が代表していただいたものと深く心に刻み、御礼を申し上げます。今後はこの賞に恥じないように、今までの人生の中で出逢い、お世話になった方々のご恩に報いるために微力ではありますが、明るい地域づくりのために協力させていただく所存であります。



社会教育功労者文部科学大臣表彰

社会教育功労者文部科学大臣表彰を受賞して

前ボーイスカウト福島連盟副連盟長 工藤信行氏

平成29年11月7日文部科学省において、社会教育功労者として表彰の栄に浴したことは感激の極みであります。省みますと四十五年余りスカウト運動に携さわってこられたのも、県連盟の指導者の皆様からいただいた御指導・御協力の賜であります。スカウト運動は、同年代の子供たちが班制度・進歩教育・野外活動を中心に楽しみながらスカウト技能を習得し、社会生活への適応性を育むことを目的としております。これらをスカウト達に理解してもらえる様、私自身活動を続けてきましたが、果たして十分な指導であった

か考えさせられるものがあります。

日本連盟初代の後藤新平総長の教えである。

「人のお世話にならぬよう
人のお世話をすよう
そしてむくいを求めぬよう」

この自治の三訣を実践しながら、スカウト運動を通じ青少年の健全育成に、今後も微力を尽くして参りたい。



輝け 社会教育

優良公民館文部科学大臣表彰

郡山市中田公民館の活動紹介

郡山市中田公民館

中田公民館では「地域の伝統と絆をつなぐ」をテーマとして代表的な伝統芸能である「柳橋歌舞伎」と伝統工芸の「海老根手すき和紙」を公民館の講座として伝統文化継承を目的に実施して参りました。いずれも、公民館職員が団体の一員となり活動すると共に、「実体験」の中から意見具申し、今後につながるよう内部から協力支援して参りました。

また、小中学校や各種団体、保存会が連携しての事業遂行も盛んで、地元中学校では「柳橋歌舞伎」を「総合的な学習の時間」の中に位置付けて、「学校祭」や「歌舞伎定期公演」で上演しています。



「海老根手すき和紙」は、保育所から高校まで和紙を使い描いた絵を灯籠にして飾る「秋蛍」のイベントに作品を出品しています。更に、地元の小学校においては「手すき和紙講座」を児童に実施し、記念となる「和紙を使った卒業証書」の授与を行っております。



これからも地域の貴重な伝統の継承支援協力を努め、少子高齢化や過疎化の進む中、地域の皆さんが、「楽しみ」を探し、「楽しめる」場として、地域に寄り添い、信頼され、愛される公民館を目指して参ります。

優良公民館文部科学大臣表彰

喜多方市松山公民館の活動紹介

喜多方市松山公民館

地域の公民館として、人づくり、まちづくりを目標に活動を展開しています。また、公民館事業から派生した地域の各団体や自主活動への支援を積極的に行い、地域の活性化に努めています。

独自に公民館運営推進協議会を設置し、公民館の運営ビジョンと行動目標を明確にし、PDC Aサイクルによる事業評価、事業改善を行いながら、各種講座、教室を実施しています。特に、「おらがまちの生涯学習推進特別事業」では、6年間にわたり「ふるさと再発見！わがまち探検まちなかてくてくウォーク」と称して、行政区ごとに歴史・文化その特色を調査し、小冊子にまとめまし



た。平成28年度には集大成として、それらの再調査を行い「小史 わがまち松山」を発刊し、好評を得ることができました。

また、地区の小学校と連携し、畑での野菜栽培はもとより、栽培した大豆から豆腐づくり、こうぞの栽培から紙漉き、これを卒業証書とするなど、学校の要請に応じて地域の人材を活用して講師を派遣するなど学校支援のコーディネーター役を担っています。



輝け 社会教育

優良公民館文部科学大臣表彰

福島市三河台学習センターの活動紹介

福島市三河台学習センター

三河台学習センターには年間延べ 27,000 人の方々が利用しており、利用登録団体数は 54 団体です。

主催事業としては、2歳児から小学生低学年を対象にした「ファミリー教室」・小学4年生から6年生を対象にした「どじんじま道場」・成人女性を対象にした「女性セミナー」・高齢者教育の「寿学級」などを開催しています。

その他事業においては地区内の各種団体との連携、そして多世代交流を大きな柱に据えた事業を企画開催しています。地区体育協会と地区歴史愛好会、それに学習センター三者が協力して開催している「みんなで歩こうみかわだい」がその一つ。



地区内にある史跡の説明を聞きながら歩く、約3Kmのウォーキング大会です。参加者は幼児から高齢者までさまざまです。見知らぬ人との何気ない会話を楽しみながら爽やかな汗を流し、ゴール後は利用登録団体の方々が調理したとん汁やおむすびを頂きながら懇親を深めています。

学習センターにまだ足を運んだことのない方が大勢いらっしゃいます。引き続き、多くの方々に気軽に来館していただける様な仕組み作りをして、初めて顔を合わせた方々が、心をひとつにして繋がっていけるような環境を提供したいと考えています。



優良PTA文部科学大臣表彰

塙小学校父母と教師の会の活動紹介

塙小学校父母と教師の会

本校父母と教師の会が、栄えある「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞できましたことは、大変な栄誉と存じます。長年、地道にそして着実に取り組んできた本校の活動が評価されたことは現在の会員だけでなく、今までの会員にとっても大きな喜びとなりました。

本校は、本部役員会を中心に、4つの専門委員会及び学年委員会で構成されています。各委員会の出席率は非常に高く、それぞれの活動に多くの方が積極的に取り組んでいます。

児童の安全確保のために、駐在や交通安全協会、保護者で『児童の安全確保に関する会議』を年2回開催しています。通学班編成に方部委員も関わり、学校・家庭・地域で連携を図り、児童の安全確保に尽力しています。



課外活動においては、参加料や活動費をPTAで負担し、児童が参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。また、算数検定では補助金を支出し、今年度は274名中170名の児童が受検しました。

他にも、夏休み中の町花火大会では、方部委員が児童の安全確保に努めています。親子の絆を深める取り組みとして、各学年で工夫を凝らした学年行事なども実施しています。

4月には常豊小学校と統合し、児童数も増えます。子どもたちの安全・安心な環境づくりや健全育成を目指して、今後ともより良い父母と教師の会活動に努めてまいります。



輝け 社会教育

優良PTA文部科学大臣表彰

田村市立芦沢小学校PTAの活動紹介

田村市立芦沢小学校PTA

今年度本校PTA団体が「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞することができましたこと、誠に光栄であると感じております。本校創立以来144年々引き継がれてきたよき伝統や保護者及び地域の方々の数々の業績が評価され、今回の栄えある受賞に至ったものと思われま。従いまして今回の受賞につきましては、現PTA会員や諸先輩、地域の方々と共に喜びを分かち合えるものです。

本校PTAは常に「すべては子どもたちのために」をモットーとし、年間を通して諸活動を展開しております。学校や家庭、地域が常にあたたかい絆で結ばれ、どのような活動にも惜みない協力をいただいております。

それでは本校PTA活動の一端をご紹介します。子どもたちの生命・安全を守る「子ども110番の家」活動には地区の全世帯が登録してい



ただいております。見守り隊による登下校の安全確保や危険箇所点検、看板設置なども継続して行っており、子どもたちは地域の宝であるという思いが伝わってまいります。また、委員会において「PTAスクール」を企画し「親子ダンス教室」や「サイエンスショー」など親子で楽しく触れ合いながら学ぶ機会も充実しております。さらには、地域の方々のご協力を得て校地内の除草作業を行ったり、諸活動を公開する広報を発行したりと、積極的に活動しております。



本校PTA会員は常にコミュニケーションを図り、会員相互の意見を大切にしながら活動を進めてまいりました。今回のこの栄誉を励みとして、今後とも子どもたちの健やかな成長のため、PTA活動を推進してまいりたいと思います。

優良PTA文部科学大臣表彰

新地小学校父母と教師の会の活動紹介

新地小学校父母と教師の会

明治5年に開校した本校のPTAは、昭和26年に組織されました。平成23年の東日本大震災では甚大な被害をうけたものの、平成25年には日本PTA表彰、29年には文部科学大臣表彰をいただきました。

本会は、今年度から各委員会の下に全会員が所属する専門部を置きました。全会員参加型の組織にすることで、役員中心の活動意識を全員参加の意識に変えようとしています。

各活動は学校行事と連携され、授業時数確保につながる会員によるプール清掃、安全確保につながる交通教室の会員による路上指導も行っています。また、学校で行う食育では講演会を



共催し、地域が取り組む親子料理教室・地域学校保健委員会にも積極的に参加してきました。（県食育推進優秀校受賞）

最大の行事「親子体験教室」では「工作・手芸・茶道・スポーツ・室内ゲーム・ダンス・科学・料理・餅つき」等を運営し、親子で楽しい時間を共有できるようにし、今年度はボランティアによる「マグロの解体ショー」も実施され、大盛況でした。



本会の考えのキーワードに「子どもも大人も楽しむ」があります。今後もこの考えで活動を活発にしていきたいと思います。

輝け 社会教育

「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

国見町地域学校協働本部の活動紹介

国見町地域学校協働本部

国見町では、昨年4月より地域学校協働本部を設置し、これまで展開してきた学校支援活動事業と放課後子ども教室事業に加え、学習支援による地域学校協働活動事業に県の委託を受けて着手しました。

「質問のできる自習室」として学習指導者を配置し、小学生から高校生まで自由に学習できる環境の設営を目指し、小学校体育館ミーティングルームを借り受け、小学生上学年向けの「放課後スタディールーム」を開設、観月台文化センターの一室には事務机を持ち込み「観月台フリー学習室」として、平日夜及び土曜午後に中高生を対象とする学習スペースを確保しました。

児童・生徒の安全管理は、小中学校と連携し対応を進めてきました。



さらに、学習指導者の確保、そして学びの質の向上等、子どもたちの主体的な学びと学習習慣の定着をめざし、充実を図って参りたいと考えています。

国見町は、保・幼・小・中が各1校という教育環境にあり、平成26年度より町内の学校をコミュニティ・スクールに指定し、地域と学校が一体となった教育を進めて参りました。昨年は地域活動として、幼小中一体で郷土の踊り「国見音頭」による交流事業を進めたところでした。

今後とも地域と学校の連携・協働を推進するため放課後等学習支援を含めた地域学校協働活動事業の一層の充実を図る所存です。



「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

金小ゆうがたクラブの活動紹介

金小ゆうがたクラブ

この度、平成29年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞いたしました。これもひとえに、安全管理員をはじめ地域、関係者のご協力の賜物であり、心より御礼申し上げます。

「金小ゆうがたクラブ」は平成19年度から活動を開始し、金山小学校で活動を展開しています。

基本的に平日は毎日開催し、夏、冬休み等の長期休業日にも対応しています。月に2回程度実施する地域活動日は、現在家庭では、あまり実施されなくなった地域の伝統行事（七夕飾り、団子さし等）を開催したり、町内にある「昔話りの会」を招いて、語り継がれた昔話を聞いたり、地域の大工さん



や小学校の先生のご協力を得ての木工教室、またALTとハロウィンを楽しんだり、数多くの地域住民が講師やボランティアとして参加してもらうことで、異世代間交流が盛んに行われ、子ども達の郷土愛、思いやりの心、規範意識等の育成が図られています。

少子化に伴い、参加児童が年々減少し、また安全管理員の確保にも苦慮しているところです。しかし、保護者の要望に応えるため、活動内容の工夫等により、今後もこの教室が安全安心で楽しい場になるようがんばっていきます。



輝け 社会教育

「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

玉川村学校支援地域本部の活動紹介

玉川村学校支援地域本部

栄えある文部科学大臣表彰を受賞することができ、大変光栄に感じております。

本村は「たまかわ大好き、学校大好き、ともだち大好き、自分大好き」をキャッチフレーズに、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの育成に取り組んでいます。

平成23年度からはじまった活動ですが、小学校での読み聞かせをきっかけに、環境整備や図書ボランティア、校外学習の引率など活動の幅が広がっていった経緯があります。

現在でも読み聞かせや昔話のかたりは小学校やこども園で継続して活動している他、フラワーアレ



ンジメントや英語教室、将棋・囲碁・卓球・習字・箏・茶道など幅広く支援を行っており、地域の方が色々な形で子どもたちに関わってくれています。



中学校では部活動の補助や調理実習補助、数学の授業補助、放課後勉強会での指導など特に年間を通しての学習補助の活動が増えてきています。

これまでご協力いただいたボランティアの皆様には感謝すると共に、これからも「こどもは地域の宝」をモットーに更なる支援の輪をひろげていきたいと思っております。

子どもの読書活動優秀実践図書館・団体文部科学大臣表彰

いわき市立いわき総合図書館の活動紹介

いわき市立いわき総合図書館

いわき総合図書館は、平成19年10月に開館し、昨年10周年を迎えました。生涯学習の拠点施設として、資料及び情報の収集・提供に努めるとともに、読書活動を推進し、「また来たくなる、みんなの役に立つ図書館」づくりに努めています。



平成28年3月には、「第三期いわき市子ども読書活動推進計画」を策定し、いわき市全体で子ども読書活動に関する施策を計画的に推進し、取組みの充実を図っています。

当館では、乳幼児期からの読書活動を促進するため、10か月児健診時の「赤ちゃんへのはじめての絵本事業」、「赤ちゃんパック絵本」の貸出及び「赤ちゃんへのおはなし会」等を実施しています。

また、読書の素晴らしさを伝えるリーダーを育てることを目的に、子ども司書育成事業を実施し、子どもが本に親しむ機会の充実に努めました。

さらに、学校支援として、「テーマ別調べ学習支援パック」・「この本よんだ？セット」の貸し出しや、学校司書への研修等の実施により、子どもの読書のための環境の整備を図っています。

今後につきましても、子どもたちが読書の楽しさを実感し、生涯にわたって望ましい読書習慣が身に付くよう、読書活動を推進する取組みを実践していきます。



輝け 社会教育

子どもの読書活動優秀実践図書館・団体文部科学大臣表彰

只見町読書活動ボランティアの活動紹介

只見町読書活動ボランティア

私たちの主な活動は、小学校での読み聞かせです。わが町も「子どもたちの読書離れ」が、大きな課題の一つでした。

そこで、教育委員会が主体となり、保育所、学校、読書に関わる方々で「只見町子ども読書活動推進計画」を平成26年1月に策定しました。

その計画を推進するための「只見町子ども読書活動推進委員会」が設立され、私たちも推進委員として参加し、関係機関との連携が図れるようになり、その活動は大きく変化したと考えます。私たちの活動も意欲的になり、県主催の研修会などに積極的に参加するようになりました。

「子ども読書活動推進計画」で次のような事業を行っています。

1 「ブックソムリエ」の設置

各学校の読書活動を推進するため、町雇用により「ブックソムリエ」を配置しました。これにより各学校の図書室が大きく変わり、

子ども達が休み時間などに訪れ、読書をするきっかけになりました。平成29年度からは、町雇用の「学校司書」が2名配置となり、さらに学校図書館の活性化が図られています。

2 ブックス・ハート・プレゼント事業

卒業式という人生の節目をお祝いし、町内保育所から高校までを対象に1人1冊の本をプレゼントしています。「いつまでも読書を通じ豊かな心を育てたい。」という思いからの事業です。

今後も、関係機関と連携を図り、「子どもたちの読書活動を応援したい。」と考えています。



「写真館」

平成29年度社会教育関係事業の様子の一部を掲載します。



学校支援実践研修会



子どもがふみだす
ふくしま復興体験応援事業 成果発表会



ビブリオバトル福島県大会



地域学校協働活動事業推進フォーラム



十七字表彰式及び100万人突破記念式典



家庭教育支援者全県研修

平成29年度社会教育関係各種表彰受賞

表彰区分	被表彰者氏名・被表彰団体名	受賞月日	表彰者
社会教育功労者	福島県婦人団体連合会常務理事・事務局長 瀧本 チイ 氏 前ボーイスカウト福島連盟副連盟長 工藤 信行 氏	11月7日	文部科学大臣
優良公民館	福島市三河台学習センター 郡山市立中田公民館 喜多方市松山公民館	3月1日	
優良PTA	田村市立芦沢小学校PTA 塙町立塙小学校父母と教師の会 新地町立新地小学校父母と教師の会	11月17日	
地域学校協働活動	国見町地域学校協働本部 玉川村学校支援地域本部 金小ゆうがたクラブ	12月7日	
子どもの読書活動優秀実践 図書館・団体（個人）	いわき市立いわき総合図書館 只見町読書活動ボランティア	4月23日	
社会教育功労者	ボーイスカウト福島連盟副連盟長 増子 恵二 氏 前国見町社会教育委員 佐藤 富子 氏 前会津坂下町八幡コミュニティセンター 事務局長 佐藤 房枝 氏	11月1日	福島県教育委員会
功績顕著な団体・施設	【団体】 三春町立沢石小学校父母と教師の会 只見町立朝日小学校父母と教師の会 新地町立駒ヶ嶺小学校父母と教師の会 【施設】 福島市渡利学習センター 下郷町公民館 広野町公民館	11月1日	
全国社会教育委員連合	元いわき地区社会教育委員連絡協議会 大平 健次 氏	9月12日	一般社団法人全国 社会教育連合会会長
日本PTA全国協議会	【団体】 福島市立飯野中学校PTA 二本松市立二本松北小学校父母と教師の会 【個人】 福島県PTA連合会会長 小林 利明 氏 福島県PTA連合会副会長 鈴木 辰也 氏 福島県PTA連合会前副会長 渡部 喜典 氏	11月17日	(公社)日本PTA 全国協議会会長
東北地区社会教育 委員連絡協議会	佐川正一郎(矢祭町) 菊地 正孝(湯川村) 猪股 純一(南会津町)	10月30日	東北地区社会教育 委員連絡協議会

平成30年度福島県社会教育施設行事予定

福島県立図書館	福島県立美術館	福島県立博物館	福島県自然の家
<p>《ふくしまを知る連続講座（5回）と関連展示》</p> <p>①平成30年4月22日（日） 「磐梯山の噴火から130年 ～世界の岩なだれの中の磐梯山～」 *9月7日（金）～10月3日（水）に関連の移動展 示（磐梯山噴火記念館）を開催。</p> <p>②平成30年5月13日（日） 「被災地の文化財 双葉高校史学部の軌跡」 *5月2日（金）～6月6日（水）に関連の移動展 示（まほろん）を開催</p> <p>③④平成30年10月に2回実施予定（日程未定） 「戊辰戦争をテーマに」</p> <p>⑤平成30年11月25日（日） 「戊辰戦争150年をテーマに」 *11月2日（金）～12月5日（水）に関連の移動 展示（福島県歴史資料館）を開催。</p>	<p>○長谷川利行展 平成30年3月24日（土）～4月22日（日）</p> <p>○ポーラ美術館コレクション展 平成30年4月28日（土）～6月24日（日）</p> <p>○安西水丸展 平成30年7月7日（土）～9月2日（日）</p> <p>○陶との対話 鈴木治・山田光展 平成30年9月15日（土）～10月14日（日）</p> <p>○生誕130年 佐藤玄々展 平成30年10月27日（土）～12月16日（日）</p> <p>○シリーズGallery F2019 コレクシ ョン再発見展 平成31年2月9日（土）～3月10日（日）</p>	<p>○匠のふるさと会津～技と祈りの建築 文化誌～ 平成30年4月28日（土）～6月24日（日）</p> <p>○日本刀の魅力（仮称） 平成30年7月14日（土） ～8月19日（日）【予定】</p> <p>○戊辰戦争150年 平成30年9月1日（土）～10月14日（日）</p> <p>○日本のわざと美-重要無形文化財と それを支える人々- 平成30年10月27日（土）～12月2日（日）</p>	<p>○郡山自然の家オーブンデー 平成30年6月24日（日）</p> <p>○会津自然の家オーブンデー 平成30年5月27日（日）</p> <p>○いわき自然の家オーブンデー 平成30年5月20日（日）</p> <p>※ 詳しくは各自然の家ホームページを ご覧ください。</p>

編集後記

県教育委員会では、今年度より「頑張る学校応援プラン」を策定し、その主要施策に、「地域と共にある学校」を掲げ、体験や探究活動の中で地域の大人と子どもの接点を増やし、子どもたちの人間性や社会性の育成に取り組んでいるところです。特に、地域社会と学校が一体となって子どもを育てる体制の整備に向け、新たに「地域学校協働」をモデル地区で実施し、子どもと大人の接点を増やすことで子どもたちの社会性を育成しているところです。「優れた『地域による学校支援活動』推進にかかる文部科学大臣表彰」が「『地域学校協働活動』推進に係る文部科学大臣表彰」と代わりました。「学校を地域が支援する」という仕組みから、「地域と学校が対等に協働する」というしくみが求められているのです。今後、高齢社会では、大人の学びや生きがいづくりも、社会教育の大きな視点になるのではないかと思います。子どもたちのためと大人のためが対等に互恵関係を育む学びの仕組みづくりが社会教育で求められてくるのではないのでしょうか。



平成30年3月吉日発行

社会教育 No. 338

編集 社会教育課

発行 福島市杉妻町 2-16

福島県教育委員会